

事務事業評価シート

(評価対象年度：平成 30 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		そ族昆虫除去事業				②事業番号		3201	
③事業類型		3. 政策推進事業		④開始年度		年度		⑤終了予定年度	
⑥根拠法令等		○ 法令		○ 条例		○ 規則		○ 要綱	
⑦実施手法		○ 直営		○ 全部委託		○ 一部委託		○ 補助・負担	
⑧関連予算科目コード		款		4		項		1	
⑨担当部名		市民生活環境部		⑩担当課名		環境整備課		会計	
								一般会計	

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位	
①一斉清掃時消毒散布者(区・自治会等)		①一斉清掃時消毒散布者(区・自治会等)		団体	
②害虫等駆除者		②害虫等駆除者		人	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位	
区、自治会等の一斉清掃時の水路等の消毒に対して、消毒車及び薬剤を無料で貸出、配布している。		①消毒車		台	
		②薬剤		本	
		③			
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	
地域における健康で快適な生活環境の確保を図る。		①消毒車		台	
		②薬剤		本	
		③			
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け			
感染症等の発生を未然に防止することにより、地域における快適な市民環境が確保出来るようになる。		政策(章)		5 快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち	
		施策大(節)		3 日常生活や事業活動などにおいてすべての市民・事業者が資源・エネルギーの利用などに配慮し、環境に負荷をかけないまちをめざします	
		施策中		1 資源・エネルギー有効利用の推進	
		施策小		1 公害の予防	

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	
対象指標①	一斉清掃時消毒散布者(区・自治会等)	団体	17	18	10	10	10	指標値の推移における 特殊要因などの説明
対象指標②	害虫等駆除者	人	0	—	—	—	—	
活動指標①	消毒車	台	20	23	13	13	13	
活動指標②	薬剤	本	45	51	33	33	33	平成28年度からハチ 等駆除用防護服の貸出 は廃止した。
活動指標③								
成果指標①	消毒車	台	20	23	13	13	13	
成果指標②	薬剤	本	45	51	33	33	33	事業費などの推移にお ける特殊要因などの説 明
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.04	0.08	0.06	0.06	0.06	
	正職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	321	642	486	486	486	事業費などの推移にお ける特殊要因などの説 明
	直接事業費	千円	178	84	143	165	165	
	総事業費	千円	499	726	629	651	651	
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	—
	府支出金	千円	0	0	0	0	0	
	受益者負担金	千円	0	0	0	0	0	
	その他特定財源	千円	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	499	726	629	651	651	

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	健康で快適な生活環境の確保を図る。 感染症等の発生を未然に防止し、快適な市民生活が営めるようにする。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	感染症等の発生の未然防止は、快適な生活環境の確保になっている。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	防護服を着用するといっても、ハチによっては凶暴で死に至るケースもあり、平成28年度から防護服の貸出を廃止し、専門の駆除業者に依頼することを勧めている。

3. 事務事業の評価【CHECK】

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔1〕の評価

B

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	市民の自主的な害虫駆除活動により周辺地域の快適な生活環境の維持に繋がる。
②税金を使って達成する目的ですか。 (市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい イ. ある程度 ウ. いいえ	消毒車は高価で個人での購入は困難であり、市民の自主的な害虫駆除活動に市が支援する必要がある。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	区、自治会等の一斉清掃時に特に消毒車の貸出依頼が多い。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	感染症の発生を未然に防止し、快適な生活環境の確保ができなくなる可能性がある。

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

⑤期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	地域住民の快適な生活環境が維持されている。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができますか。)	ア. ある イ. ない	市民の自主的な薬剤散布は一定の成果をあげている。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	—

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

A

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	事業費としては、薬剤購入と消毒車の維持管理だけである。
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。 (歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	市民の自主的な害虫駆除活動により周辺地域の快適な生活環境の維持に貢献していただいているため、歳入確保は難しい。

4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A:現状のまま事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	B	あくまでも市民の自主的な害虫駆除活動に使用する機材等の貸し出しであるが、ハチによっては凶暴で死に至るケースもあり、ハチ等駆除用防護服の貸出は廃止した。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

イ	ア. 現状のまま継続	イ. 見直しのうえで継続	ウ. 終了 (年まで)	エ. 休止 (年から)	オ. 廃止 (年から)
	↓ <今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)				
①改革、改善の具体案、実施年度など		ハチ等駆除用防護服の貸出を中止したように、害虫の種類によって手段を改善していく必要があります。			
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策		—			